

専門課程シラバス

授業科目	基礎看護学技術Ⅲフィジカルアセスメント		担当者	石田幹人、山口智弘、高橋依子、福本知子、福田真也		実務経験	○(看護師)
開講時期	1 学年後期	授業の方法	講義・演習	単位数	1	時間数	30
授業概要	対象の健康状態を把握し、様々な健康レベルにある人に適切な看護を行うため、対象の身体状態を客観的かつ、正確に把握する。フィジカルアセスメントの基礎的知識と技術を学び、得られた情報を実際のケアに結びつけることができる。						
授業計画	<p>1・2 ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメント、フィジカルイグザミネーションの関係性</p> <p>3・4 フィジカルアセスメントの必要な技術(視診・触診・打診・聴診)</p> <p>5・6 バイタルサインの観察とアセスメント</p> <p>7・8 バイタルサイン測定演習(体温・脈拍・呼吸・血圧・意識レベル)</p> <p>9・10 呼吸器系のフィジカルアセスメントの目的と基礎知識</p> <p>11・12 循環器系のフィジカルアセスメントの目的と基礎知識</p> <p>13・14 呼吸器系、循環器系のフィジカルアセスメントの実際(演習)</p> <p>15・16 腹部のフィジカルアセスメントの目的と基礎知識</p> <p>17・18 筋・骨格系のフィジカルアセスメントの目的と基礎知識</p> <p>19・20 腹部、筋・骨格系のフィジカルアセスメントの実際(演習)</p> <p>21・22 脳神経系のフィジカルアセスメントの目的と基礎知識</p> <p>23・24 他器官別フィジカルアセスメント(感覚器・乳房・直腸・肛門・生殖器・頭頸部)の目的と基礎知識</p> <p>25・26 脳神経系、他器官のフィジカルアセスメントの実際(演習)</p> <p>27・28 紙上事例 COPD患者の全身状態の観察の視点、フィジカルアセスメントを行う</p> <p>29・30 紙上事例 心不全患者の全身状態の観察の視点、フィジカルアセスメントを行う</p> <p>終講試験</p>						
テキスト参考文献	<p>系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 I 第18版 第2刷 医学書院 2024</p> <p>実践するヘルスアセスメント 初版 第6刷 学研 2021</p>						
成績評価の方法	筆記試験、授業態度・出席率・実技試験で総合的に評価する						